

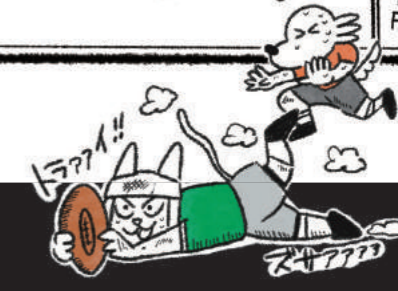


皆さんこんにちは。今回のベレベレ通信は今年行われたスポーツ世界大会（野球、バスケットボール、ラグビー）に出場した国の国旗の由来を調べて、興味深いものをご紹介します。自分は旗を見るのが好きです。サッカーを熱心に見ていた時はわざわざチームフラッグの本を買ったほど旗に興味がありました。こういった経験から、国旗を取り上げ記事にしたら楽しんでもらえると思っています。国を象徴する旗は様々な思いや歴史があって決まります。国旗の由来から国の成り立ちを垣間見ることができます。歴史に少しでも触れながら楽しんでお読み下さい。

参考文献
 ①『新版 国旗と国名由来図典』（出窓社、2021年12月発売）
 ②『ハンディ版 世界の国旗』（日本文芸社、2019年12月発売）



2023年10月号
ベレベレ通信
 〒162-0892 東京都新宿区岩町12-1
 2F
 有限会社 ベレ出版
 TEL: 03-5225-4790
 FAX: 03-5225-4795



野球 ワールドベースボールクラシック 2023

 <p>イギリス</p> <p>イングランド、ウェールズ、スコットランド、北アイルランドの4つの国が同君連合型の単一主権国家を形成しているイギリスは、イングランドの聖ジョージの白地に赤十字、スコットランドの聖アンドリュースの青地に白のX十字、アイルランドの聖パトリックの白地に赤のX十字が合わさり国旗が形成されている。ウェールズは国旗が決まるよりも前にイングランドに服従していたので反映されていない。</p>	 <p>イスラエル</p> <p>上下の帯はユダヤ教の男性が礼拝の際に用いるタリットと呼ばれる肩掛けの帯を表しており、青はパレスチナの空の色、白はイスラエル人の清い心を表している。また中央の六角の星は「ダビデの星」といわれ、古代イスラエル王国のダビデ王を表している。</p>	 <p>ドミニカ共和国</p> <p>青は平和を、赤は独立のために流された尊い血を、白は自由を、十字はキリスト教への信仰心を表わしている。中央の紋章は国旗を描いた楯の左右を月桂樹とヤシの葉が囲み、楯の上に聖書と十字架が描かれ、キリスト教国であることを示している。上のリボンには「神・祖国・自由」の文字が、下のリボンには国名が記されている。</p>
 <p>ニカラグア</p> <p>上下の青いストライプは太平洋とカリブ海、中央の白は平和と統一を表している。中央の三角形の中には、中米連邦各国を表す五つの火山と、平和の象徴である虹、自由の象徴である分離独立主義者の帽子がデザインされている。上の文字は「ニカラグア共和国」、下の文字は「中央アメリカ」と記されている。</p>	 <p>メキシコ</p> <p>緑は民族の運命における国民の希望、白はカトリックや宗教的な純粋さ、赤は国に殉じた愛国者の血を表している。中央の国章に描かれている鷲は国鳥で、蛇を啗えた鷲がサボテンにとまった場所に首都を建設せよ、というアステカの神話に由来する。</p>	 <p>韓国</p> <p>白は国土、円が国民を表しているのと同時に、白は正義や平和の精神、円は太極（テグ）といい、宇宙を表し、青は陰を、赤は陽を示し、陰陽が1つとなって万物を創造することを表している。また四隅の記号は易の掛で乾（けん）・坤（こん）・坎（かん）・離（り）が一對になって万物の対立と均衡を表している。（それぞれ天・地・水・火を表している。）</p>


ラグビー ラグビーワールドカップ 2023

 <p>アルゼンチン</p> <p>上下の青は海と空を表わすと同時に、正義、真実、友情を象徴しており、また青色と白はスペインからの独立の際の、革命軍の軍服の色から採用された。中央の太陽は「五月の太陽」と呼ばれ、独立戦争開戦の5月25日に長雨が上がり、太陽が出たという故事に由来する。</p>	 <p>ウェールズ</p> <p>背景の白と緑は、イングランドとの争いの末、ピルスの戦いで戦死した最後の公であるサウェリン・アプ・グリフィズが用いた色と言われている。さらにウェールズのもう一つの象徴であるリーキ（西洋ねぎ）の色ともなっている。また真ん中の竜は地中には地震を起こし災厄を招く黒い竜があり、それを水の神である赤い竜が倒してこの地に平和をもたらしたという、ケルト人の建国伝承に由来している。</p>	 <p>フィジー</p> <p>左上のユニオン・ジャックはイギリス連邦の一員であることを示し、地色の水色は太平洋を表している。楯の紋章には、イギリス王室を象徴する黄色いライオンとイングランドを表す聖ジョージの赤い十字を中心に、特産のサトウキビ、ヤシの木、バナナ、オリーブの枝を啗えた鳩が描かれている。</p>
 <p>ポルトガル</p> <p>緑は希望と誠実さを表すとともに勇敢なるアヴィス騎士団のシンボルカラーであり、赤は大航海時代、大洋と闘った輝けるポルトガル人の先人たちの犠牲の血を表している。中央の紋章は優れた航海術を示す天球儀と5つの楯と7つの城が描かれており、ムーア人の国と奪い返した城の数を表している。</p>	 <p>南アフリカ</p> <p>赤は黒人解放運動で流された血、青は空と水、緑は農業と森林資源、黄は鉱物資源、黒は黒人、白は白人を表す。また横Y字型は勝利のVで、あらゆる民族と文化がともに繁栄するという理想を表している。</p>	 <p>日本</p> <p>白地に太陽を描いたもの。赤は太陽以外に博愛と活力、白は神聖と純潔を意味する。太陽をモチーフにしたのは日本では聖徳太子が遣隋使に託した文書以来、自国を「日出づる国」とする考え方があり、極東に位置する国であることを示す意図があったと考えられている。</p>

 アメリカ	 イタリア	 オーストラリア	 オランダ	 カナダ	 キューバ	 コロンビア	 アイルランド	 イタリア	 イングランド	 ウルグアイ	 オーストラリア	 サモア	 ジョージア
 チェコ	 チャイニーズ・タイペイ	 パナマ	 プエルトリコ	 ベネズエラ	 中国	 日本	 スコットランド	 チリ	 トンガ	 ナミビア	 ニュージーランド	 フランス	 ルーマニア

11月新刊インフォメーション

当注文は
同社の注文書
にてお願いします。



音声 DL 付 本気で学ぶイタリア語 文法問題集

本多孝昭 A5並製 3,600円
978-4-86064-743-8

イタリア語文法を、基礎から中上級レベルまで、44 課を通して完成させるための問題集です。文法知識を定着させるには繰り返し問題を解き、音声を聞いたり、音読をして体に定着させていくことが重要です。本書は、文法の要点をおさらいしながらたくさん問題を解くことができます。本気でイタリア語をマスターしたい人、基礎をがっちり固めたい人、通訳・翻訳志望の方にぜひ使っていただきたいおすすめの本です。

謎解き世界地理 ピック100

宇田川勝司 四六並製 1,500円
978-4-86064-744-5

「モンゴルにはジンギスカン料理はない」「韓国の人口の 22%は金さん」「黒海はホントに黒いのか」「なぜアメリカ人はマスクを嫌がるのか」「北欧 5 カ国の国旗がそっくりなのはなぜか」「オーストラリアで、年間 150 万頭のカンガルーが射殺されている」世界中がインターネットでつながりグローバル化が進んでいても、世界各地で地形や気候は異なり、そこに見られる動植物は様々です。言葉、食べもの、風習なども国や民族ごとに違います。世界には日本人が真相を知らなかったり、気付いていなかったりする数多くの謎や驚きがあるのです。本書ではそんな世界各地の文化の違いや驚きの事実に取り組みます。人に話したくなるウンチクの世界一周をしてみませんか？

身近な薬用植物ものしり帖

伊藤優 四六並製 2,000円
978-4-86064-745-2

道ばたに生えているドクダミヤクズ、オオバコ、ヨモギ……。野山で見かけるホオノキやウド、アケビ……。食べ物や化粧品などに使われているアロエやハトムギ、ウコン……。これらは全部、薬用植物と呼ばれ、薬として用いられてきた植物です。本書は、100 種の薬用植物を取り上げ、さまざまな「おもしろいところ」「すごいところ」を紹介する一冊です。「薬効や成分」「利用例」の話はもちろん、「どんなところに、どんな感じで生えているのか」「どんなところが観察ポイントか」といった「観察する際に役立つ知識」や「植物に対する理解が深まる知識」などを紹介するので、植物観察がさらにおもしろくなること間違いなし。薬用植物という役に立つ植物を通して、植物に関するさまざまなことについて気軽に学べる、知的好奇心をくすぐる植物雑学集！



「紙の本が好き」が揺らぐ (バンドウ)

このコラムでも自身の担当回ではたびたび「紙の本」にこだわった内容をお届けすることがありました。本にはカバー、表紙、見返し、本文それぞれのパーツに様々な銘柄の用紙があって……というような。

書店にお勤めの方の中には第 169 回芥川賞受賞の『ハンチバック』（市川沙央）を読まれた方も多いと思います。作者の市川さんは「筋疾患先天性ミオパチーにより症候性側弯症を罹患し、人工呼吸器と電動車椅子を常用する」（Wikipedia より）方で、この作品はご本人のような境遇の人物の話を中心に展開していきます。その人が読書について語るくだりで次のような描写がありました。

私は紙の本を憎んでいた。目が見えること、本が持てること、ページがめくれること、読書姿勢が保てること、書店へ自由に買いに行けること、——（中略）その特権性に気づかない「本好き」たちの無知な傲慢さを憎んでいた。

ストレートパンチを顔の正面にふいに食らって頭がクラクラするような。「本はやっぱり紙だね」とかかわったふうに出てきた自分の浅はかさを強烈に思い知らされた一節でした。それからというもの、地下鉄の窓にうつる本を広げた自分の姿にも、今までと違う何かを感じるようになりました。サリンジャーやハン・ガンに浸れるのは紙の本だからなのだろうか。違う形で出会ったとしても同じように愛することになったのだろうか。これまでだったら疑いもなく「同じではない」と出てきたことでしょうか。しかし今では「同じかもしれない、いや同じだ」と思うようになってきたのです。でも一方で、紙の本を愛する気持ちを捨て去らなければならないことにはならない、とも思うのでした。

このような気づきを与えてくれたこの作品はさらに自分に、「物語の創作は脳みそ一つで自由に無限にできるんだ」ということを見せつけてくれたのでした。本ってやっぱりいいものですね。どんな形でも。



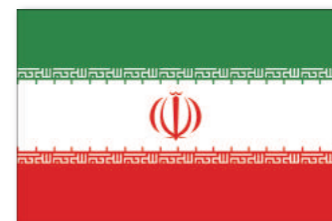
バスケットボール

FIBA バスケットボール ワールドカップ 2023



アンゴラ

赤と黒の地の中央に、星と鉤と歯車を配しており、赤は独立闘争で流れた血を、黒はアフリカ大陸を象徴している。そして星は社会主義を、鉤は農業を、歯車は工業化を表しており、黄色は国の天然資源の豊かさを表している。



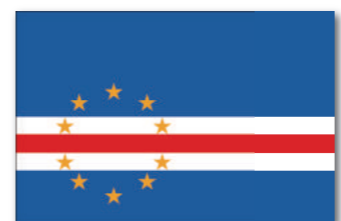
イラン

緑色はイスラム教を、白色は平和と永遠を、赤色は共和国憲法を表している。また中央には1本の剣と4つの三日月を組み合わせてアッラー（神）というアラビア語が描かれており、緑と赤の内側にアラビア語で「神は偉大なり」というイスラムの聖句が22回繰り返し書かれている。



エジプト

赤は革命で流された血、白は国の明るい未来と平和、黒は過去の圧政を表わし、この3色でアラブ統一の願いを表現している。また中央の鷹は十字軍を撃退した英雄サラディンのシンボルである。下には「エジプト・アラブ共和国」と書かれている。



カーボベルデ

青は空と海を表し、紅白の帯はこの国の形成までの道を表している。白は平和、赤は努力を象徴する。10 個の星はアフリカ大陸から離れたところにあるカーボベルデ諸島の主要な島々を表し、星が作る円は国の統一を象徴している。



スペイン

黄は豊かな国土、赤は外敵を撃退した時に流れた血を表している。また紋章は王冠と楯を2本の柱が支え、楯には5つの古王国の紋章が組み込まれている。柱は「ヘラクレスの柱」と呼ばれ、未知なる大地を表しており、リボンには「より遠くの世界へ」と書かれている。



ブラジル

緑は森林資源を、黄色は金と鉱物資源を表している。中央の天体は、無血革命で共和制になった 1889 年 11 月 15 日 8 時 30 分のリオデジャネイロの夜空を再現している。またその帯黄道を表しており、そこには「秩序と進歩」という標語が書かれている。

アメリカ	イタリア	オーストラリア	カナダ	ギリシャ	コートジボワール	ジョージア	スロベニア	セルビア
ドイツ	ドミニカ共和国	ニュージーランド	フィリピン	フィンランド	プエルトリコ	フランス	ベネズエラ	メキシコ
モンテネグロ	ヨルダン	ラトビア	リトアニア	レバノン	中国	南スーダン	日本	